

# 2022(令和4)年度学生の学修時間・学修行動を把握するアンケート報告書

研究教育開発センター

## I 学生の学修時間・学修行動を把握するアンケートについて

### 1 アンケートの目的

学生に1年間の学修生活を振り返ってもらい、把握した状況をもとに教育活動の見直しに組織的に取り組むために実施する。

### 2 アンケートの実施概要

#### (1)アンケート対象学生

2022(令和4)年度の全学部・全学科及び全研究科学生

#### (2)アンケートの実施時期

2023(令和5)年2月27日(月)～3月31日(金)

#### (3)アンケートの実施方法

パソコン・スマートフォン等によるLCUでの回答。

#### (4)アンケート回答状況

回答率:30.8%(回答数872名/対象数2,831名)

#### (5)アンケートの質問項目

質問項目は以下の13項目となっている。

問1 所属する学科・研究科を教えてください。

問2 学年を教えてください。

問3 開講期における1週間の平均登校日数は何日でしたか。

問4 授業への出席率は、履修した科目を平均すると何割くらいでしたか。

問5 開講期間中の学修・勉強の時間は1日平均するとどれくらいでしたか。(学修・勉強の時間には授業時間は含みません)

問6 開講期間中、どのような学修・勉強に多くの時間を使いましたか。(複数回答可)その他を選択した場合は、具体的な内容を記載してください。

問7 問6で答えた学修・勉強は主にどこで行いましたか。(複数回答可)その他を選択した場合は、具体的な内容を記載してください。

問8 1年生にお聞きします。教養ワークブックの自習時間は1日平均するとどれくらいでしたか。

問9 現在、サークルなどの課外活動をしていますか。(複数回答可)

問10 問9で学内のサークルに加入している、または学外のサークルや団体などに加入していると回答した方にお聞きします。それらの課外活動に使っている1週間の平均時間はどれくらいですか。

問11 現在、アルバイトをしていますか。

問12 問11でアルバイトをしていると回答した方にお聞きします。アルバイトの1週間の平均時間はどれくらいですか。

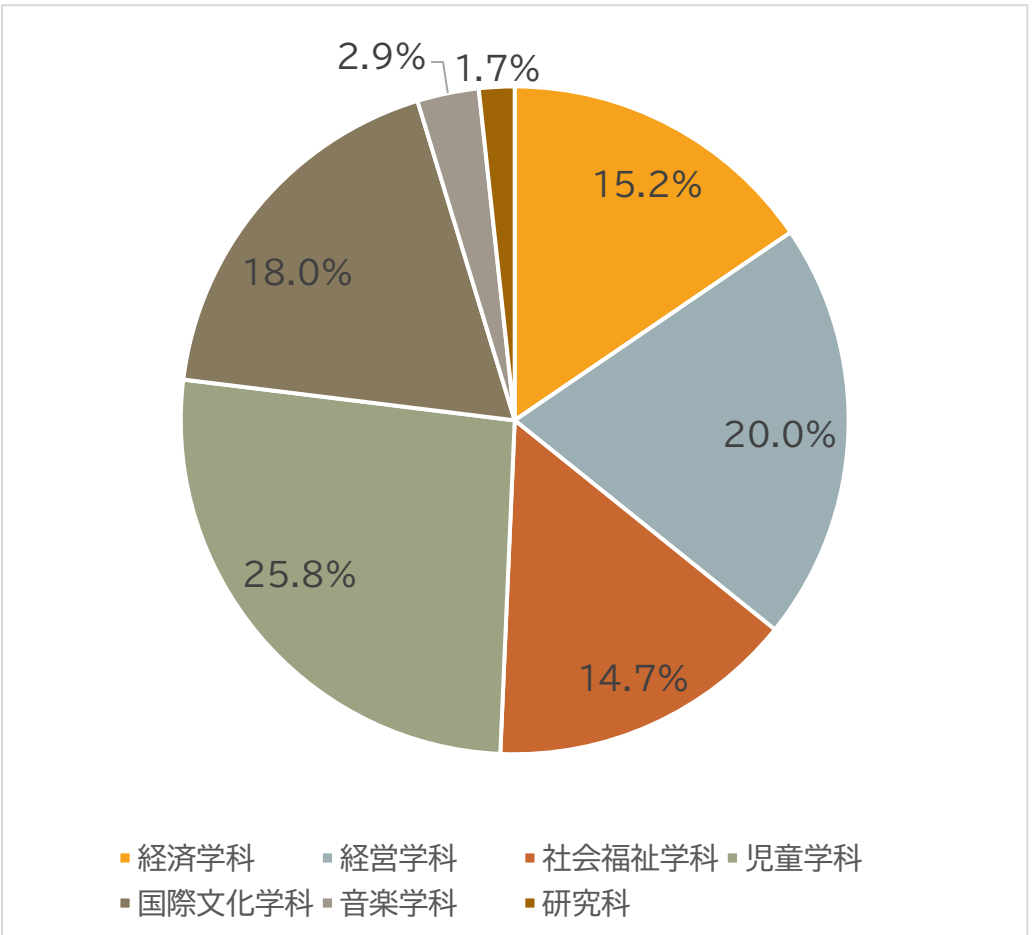
問13 問11でアルバイトをしていると回答した方にお聞きします。どのような目的でアルバイトをしていますか。(複数回答可)その他を選択した場合は、具体的な目的を記載してください。

## Ⅱ 学生の学修時間・学修行動を把握するアンケート結果及び分析

問1 所属する学科・研究科を教えてください。

児童学科が最も多く、回答しており、次いで経営学科、国際文化学科といった順となっている。

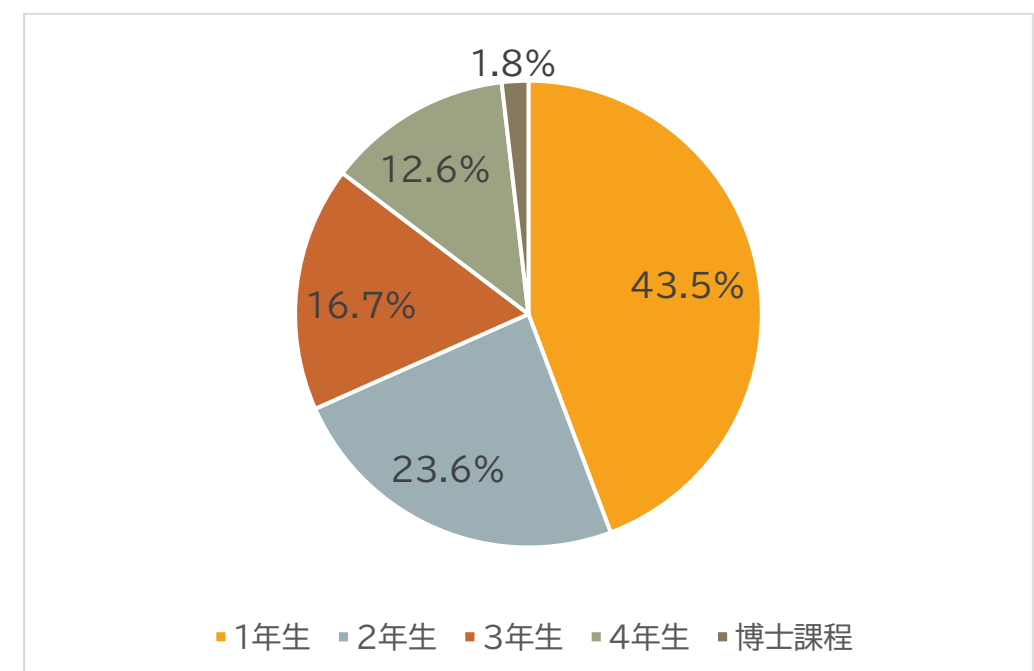
| 学科・研究科      | 割合     | 回答者数 |
|-------------|--------|------|
| 経済学科        | 15.2%  | 135  |
| 経営学科        | 20.0%  | 177  |
| 社会福祉学科      | 14.7%  | 130  |
| 児童学科        | 25.8%  | 229  |
| 国際文化学科      | 18.0%  | 160  |
| 音楽学科        | 2.9%   | 26   |
| 研究科         | 1.7%   | 15   |
| 大学院経済学研究科   | 0.3%   | 3    |
| 大学院福祉社会学研究科 | 0.8%   | 7    |
| 大学院国際文化研究科  | 0.6%   | 5    |
| 計           | 100.0% | 887  |



問2 学年を教えてください。

1年生が最も多く、回答しており、次いで2年生、3年生、4年生、大学院生となっている。

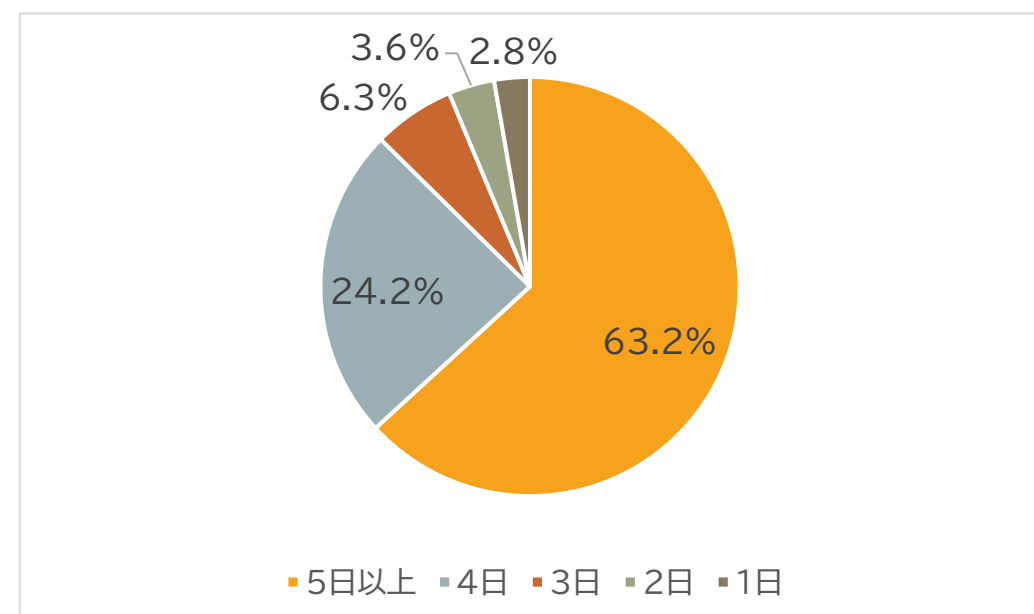
| 学年           | 割合     | 回答者数 |
|--------------|--------|------|
| 1年生          | 43.5%  | 386  |
| 2年生          | 23.6%  | 210  |
| 3年生          | 16.7%  | 148  |
| 4年生          | 12.6%  | 112  |
| 博士課程         | 1.8%   | 16   |
| 博士前期課程(修士課程) | 1.4%   | 12   |
| 博士後期課程       | 0.5%   | 4    |
| 計            | 100.0% | 888  |



問3 開講期における1週間の平均登校日数は何日でしたか。

60%を超える学生が平均5日以上登校している。

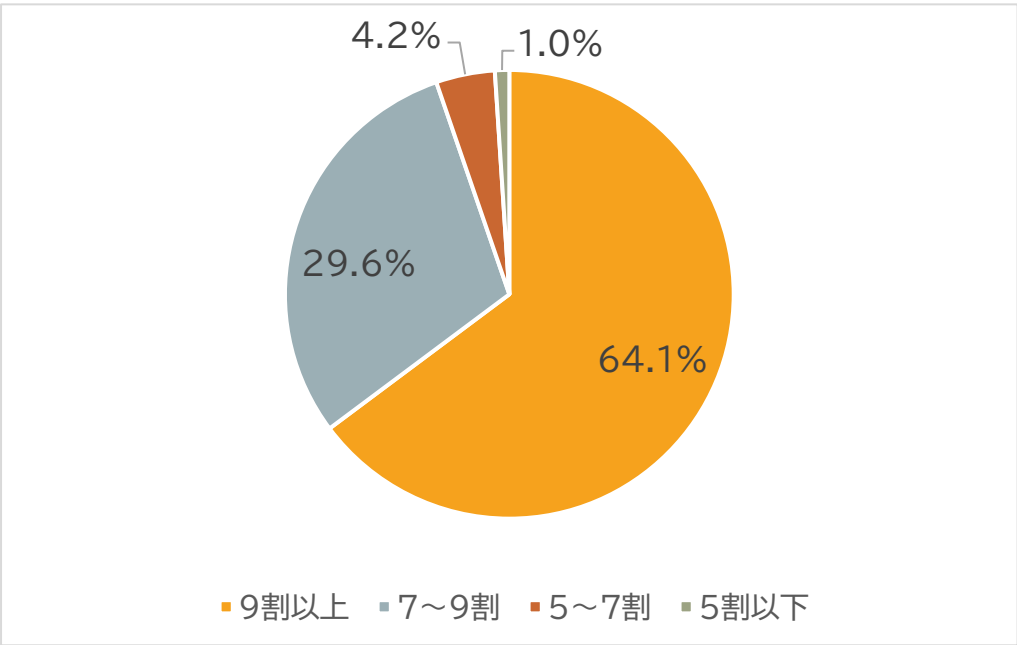
| 平均登校日数 | 割合     | 回答者数 |
|--------|--------|------|
| 5日以上   | 63.2%  | 551  |
| 4日     | 24.2%  | 211  |
| 3日     | 6.3%   | 55   |
| 2日     | 3.6%   | 31   |
| 1日     | 2.8%   | 24   |
| 計      | 100.0% | 872  |



問4 授業への出席率は、履修した科目を平均すると何割くらいでしたか。

60%を超える学生が平均9割以上出席している。

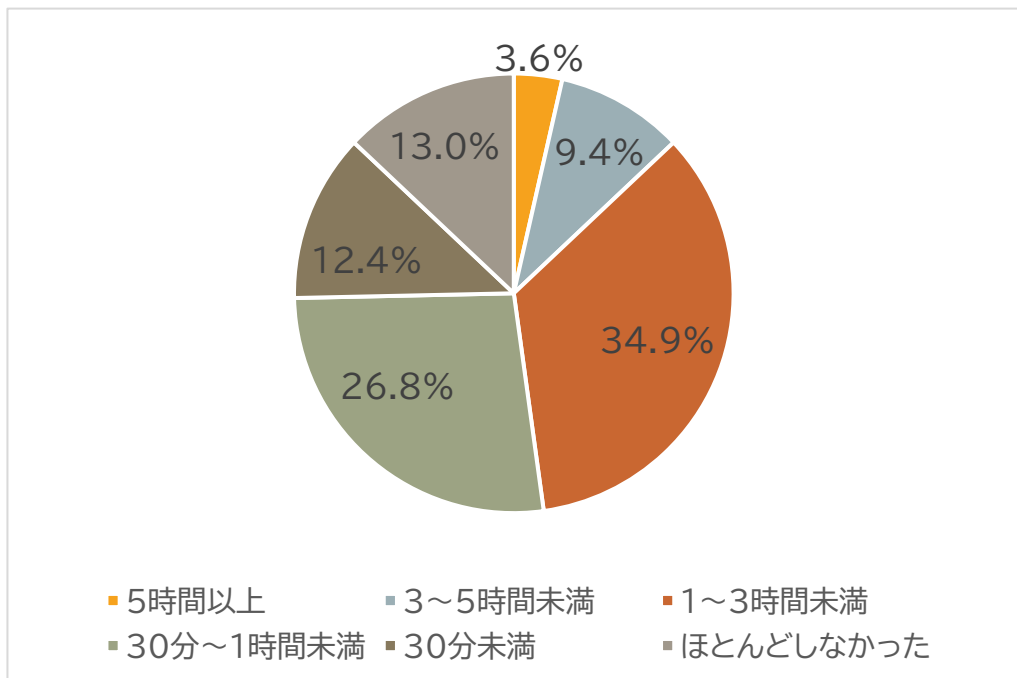
| 平均出席率 | 割合     | 回答者数 |
|-------|--------|------|
| 9割以上  | 64.1%  | 565  |
| 7～9割  | 29.6%  | 261  |
| 5～7割  | 4.2%   | 37   |
| 5割以下  | 1.0%   | 9    |
| 3～5割  | 0.3%   | 3    |
| 3割未満  | 0.7%   | 6    |
| 計     | 100.0% | 881  |



問5 開講期間中の学修・勉強の時間は1日平均するとどれくらいでしたか。(学修・勉強の時間には授業時間は含みません)

「1～3時間未満」が最多で34.9%となっている。

| 平均時間      | 割合     | 回答者数 |
|-----------|--------|------|
| 5時間以上     | 3.6%   | 31   |
| 3～5時間未満   | 9.4%   | 82   |
| 1～3時間未満   | 34.9%  | 304  |
| 30分～1時間未満 | 26.8%  | 234  |
| 30分未満     | 12.4%  | 108  |
| ほとんどしなかった | 13.0%  | 113  |
| 計         | 100.0% | 872  |

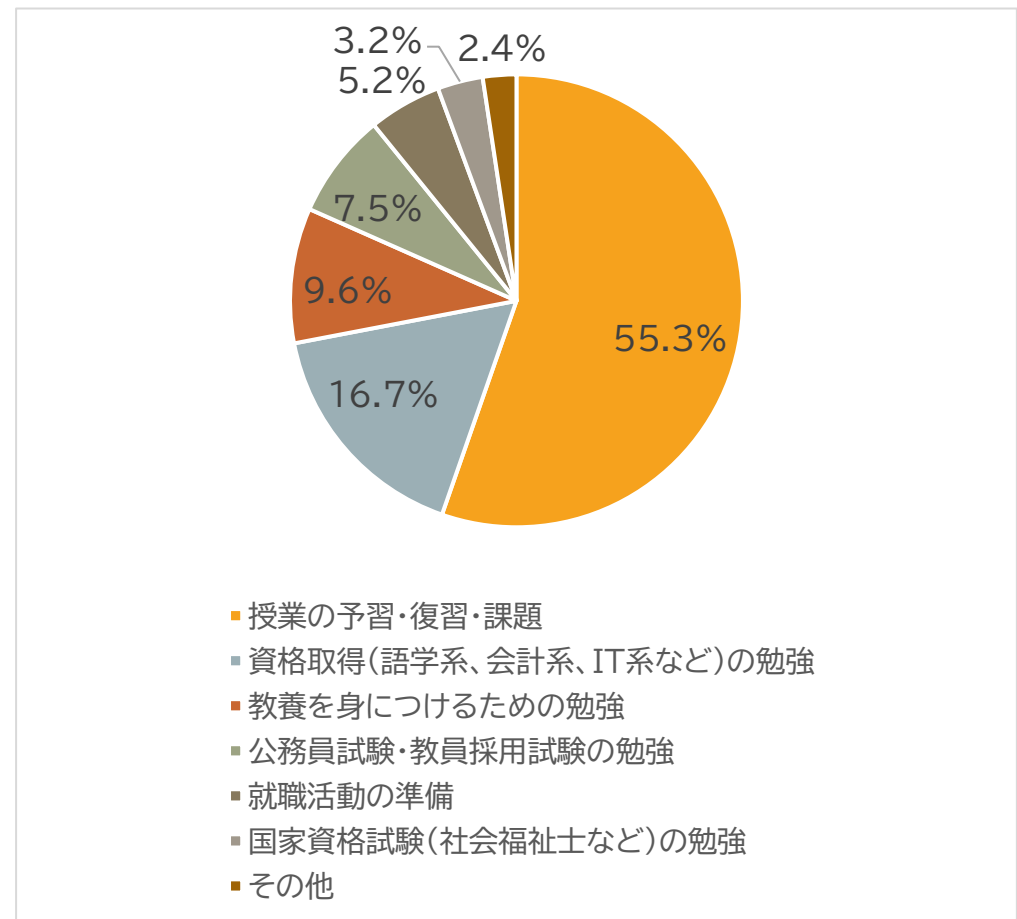


問6 開講期間中、どのような学修・勉強に多くの時間を使いましたか。(複数回答可)

その他を選択した場合は、具体的な内容を記載してください。

「授業の予習・復習・課題」が最多で55.3%となっている。

| 学修・勉強の種類                     | 割合     | 回答者数  |
|------------------------------|--------|-------|
| 授業の予習・復習・課題                  | 55.3%  | 648   |
| 資格取得(語学系、会計系、IT系など)の勉強       | 16.7%  | 195   |
| 教養を身につけるための勉強                | 9.6%   | 113   |
| 公務員試験・教員採用試験の勉強              | 7.5%   | 88    |
| 就職活動の準備                      | 5.2%   | 61    |
| 国家資格試験(社会福祉士など)の勉強           | 3.2%   | 38    |
| その他                          | 2.4%   | 28    |
| 教養ワークブック、模擬授業やプレゼンテーションの準備など |        |       |
| 計                            | 100.0% | 1,171 |

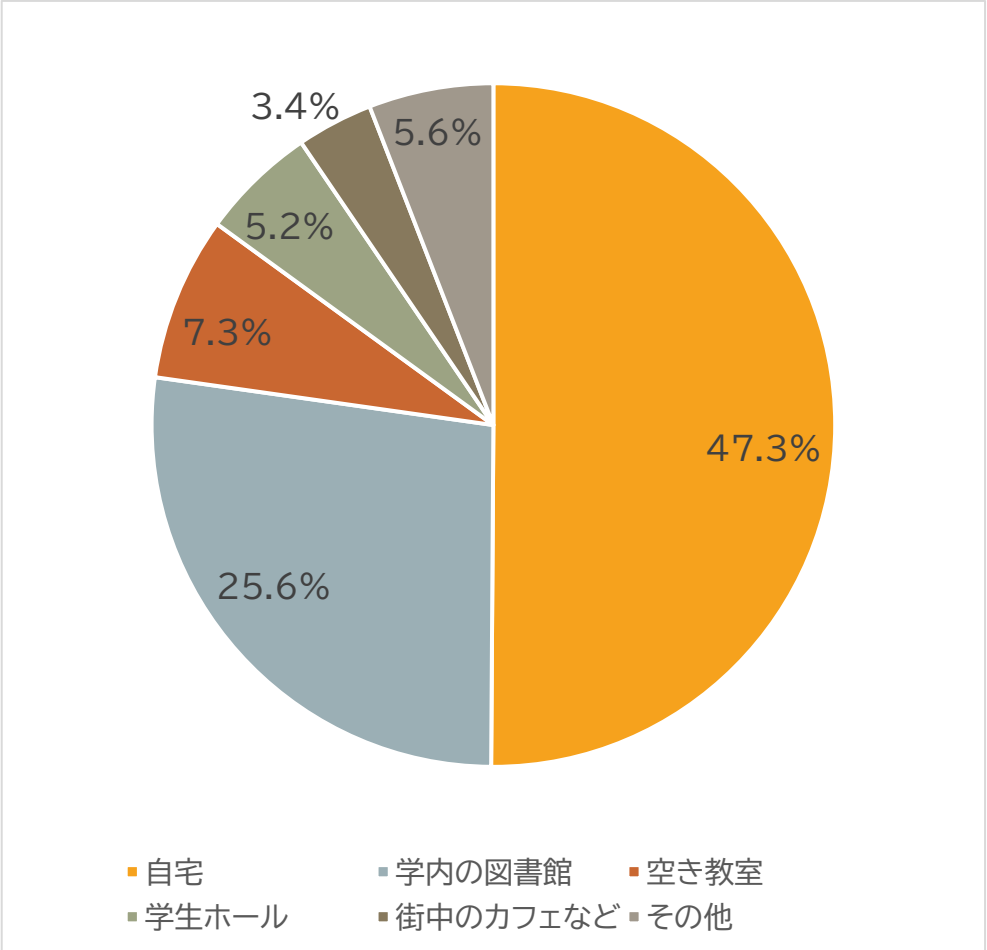


問7 問6で答えた学修・勉強は主にどこで行いましたか。(複数回答可)

その他を選択した場合は、具体的な内容を記載してください。

「自宅」が最多で47.3%となっている。

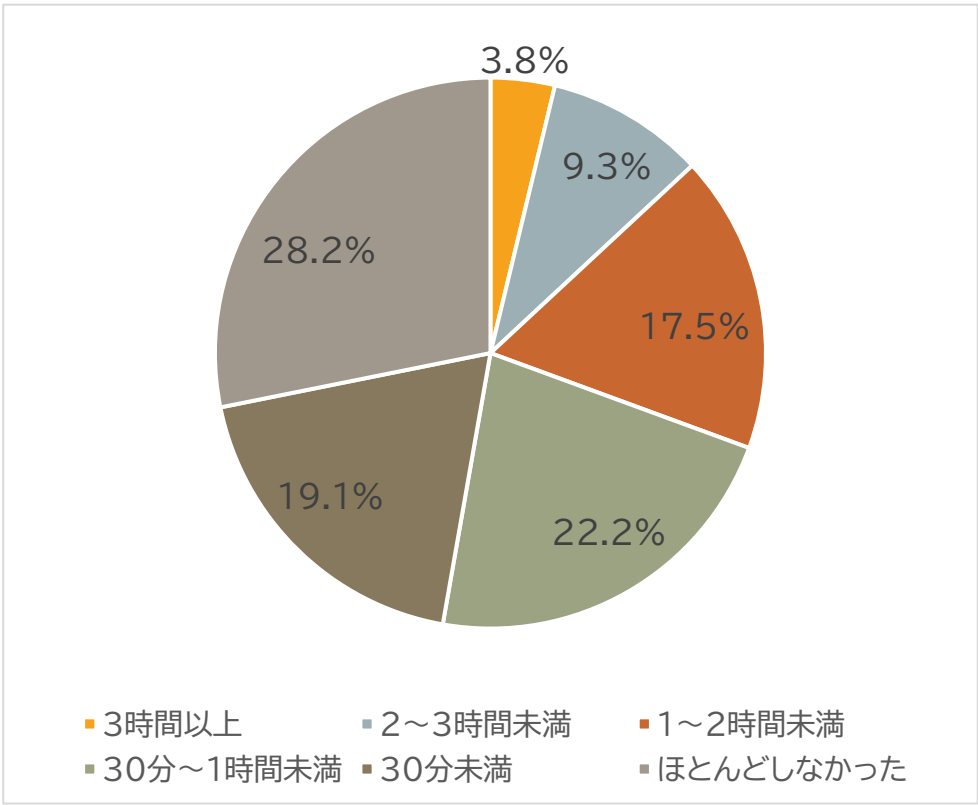
| 学修・勉強した場所                | 割合     | 回答者数  |
|--------------------------|--------|-------|
| 自宅                       | 47.3%  | 722   |
| 学内の図書館                   | 25.6%  | 391   |
| 空き教室                     | 7.3%   | 112   |
| 学生ホール                    | 5.2%   | 79    |
| 街中のカフェなど                 | 3.4%   | 52    |
| その他                      | 5.6%   | 85    |
| ゼミ・研究室、サークルの部室<br>通学中の電車 | 2.7%   | 41    |
| 学外の図書館                   | 2.4%   | 37    |
| 専門学校                     | 0.5%   | 7     |
| 計                        | 100.0% | 1,526 |



問8 1年生にお聞きします。教養ワークブックの自習時間は1日平均するとどれくらいでしたか。

「ほとんどしなかった」が最多で28.2%となっている。

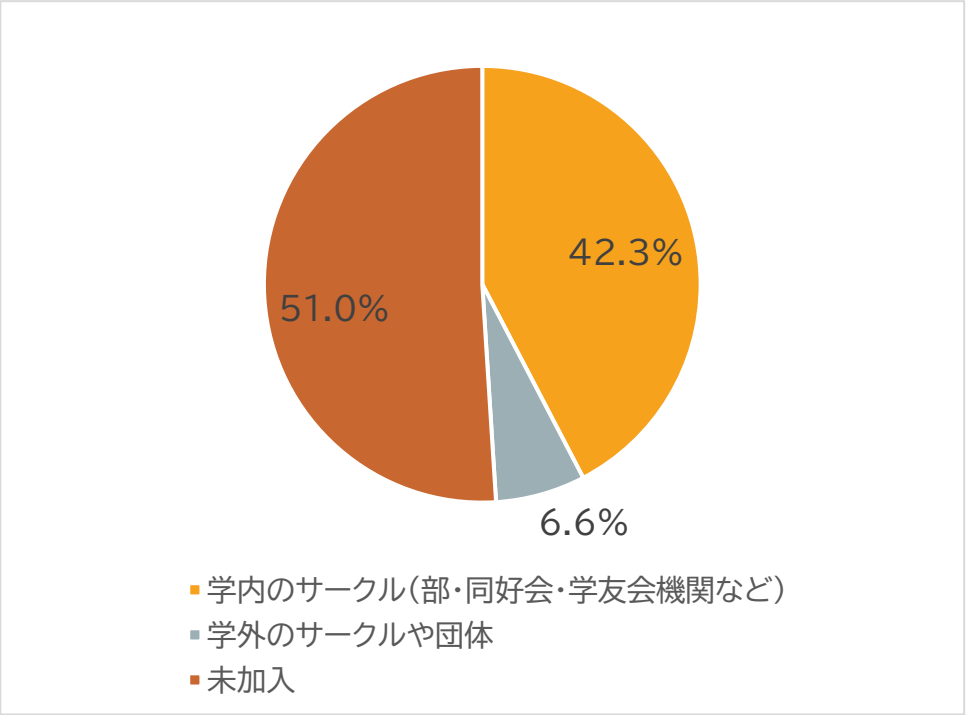
| 平均時間      | 割合     | 回答者数 |
|-----------|--------|------|
| 3時間以上     | 3.8%   | 17   |
| 2～3時間未満   | 9.3%   | 42   |
| 1～2時間未満   | 17.5%  | 79   |
| 30分～1時間未満 | 22.2%  | 100  |
| 30分未満     | 19.1%  | 86   |
| ほとんどしなかった | 28.2%  | 127  |
| 計         | 100.0% | 451  |



問9 現在、サークルなどの課外活動をしていますか。(複数回答可)

「加入している」が約50%となっている。

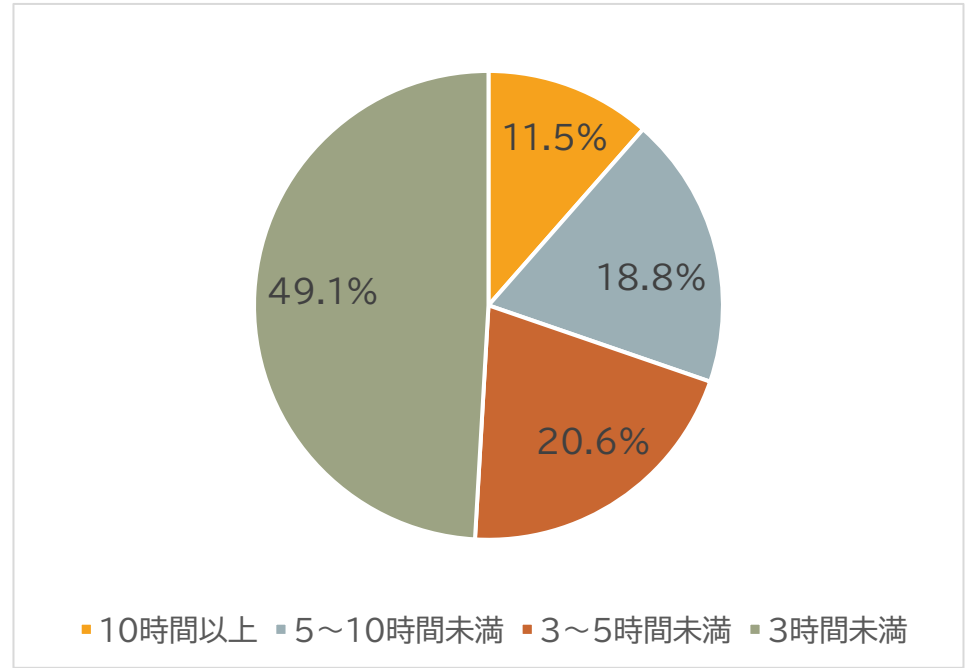
| 加入状況                   | 割合     | 回答者数 |
|------------------------|--------|------|
| 学内のサークル(部・同好会・学友会機関など) | 42.3%  | 357  |
| 学外のサークルや団体             | 6.6%   | 56   |
| 未加入                    | 51.0%  | 430  |
| 計                      | 100.0% | 843  |



問10 問9で学内のサークルに加入している、または学外のサークルや団体などに加入していると回答した方にお聞きします。それらの課外活動に使っている1週間の平均時間はどれくらいですか。

「3時間未満」が最多で49.1%となっている。

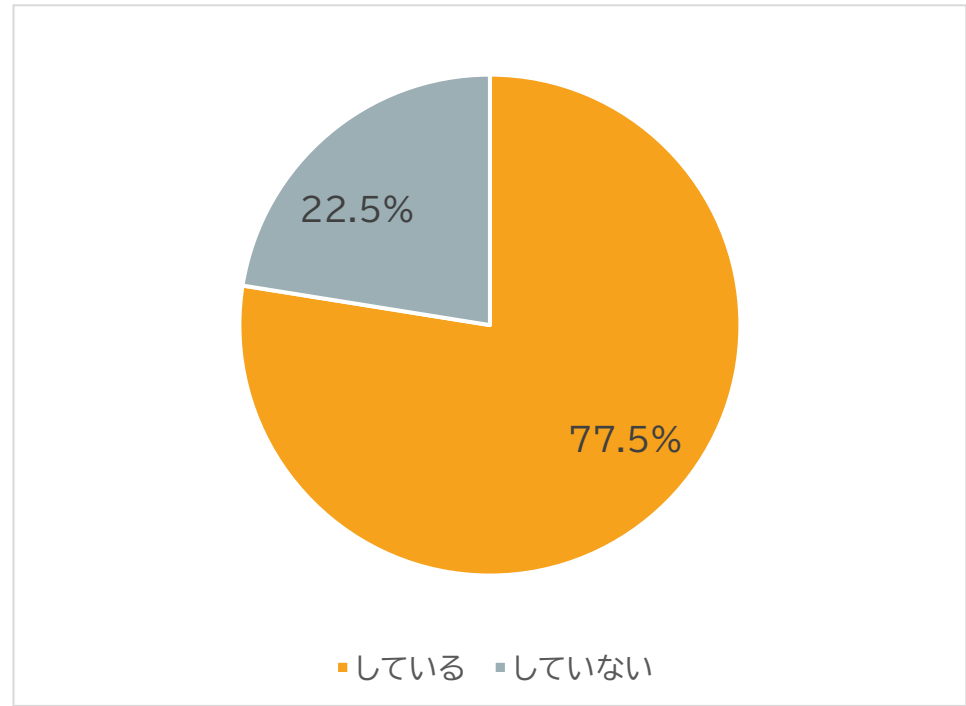
| 平均時間     | 割合     | 回答者数 |
|----------|--------|------|
| 10時間以上   | 11.5%  | 50   |
| 5～10時間未満 | 18.8%  | 82   |
| 3～5時間未満  | 20.6%  | 90   |
| 3時間未満    | 49.1%  | 214  |
| 計        | 100.0% | 436  |



問11 現在、アルバイトをしていますか。

「している」が77.5%となっている。

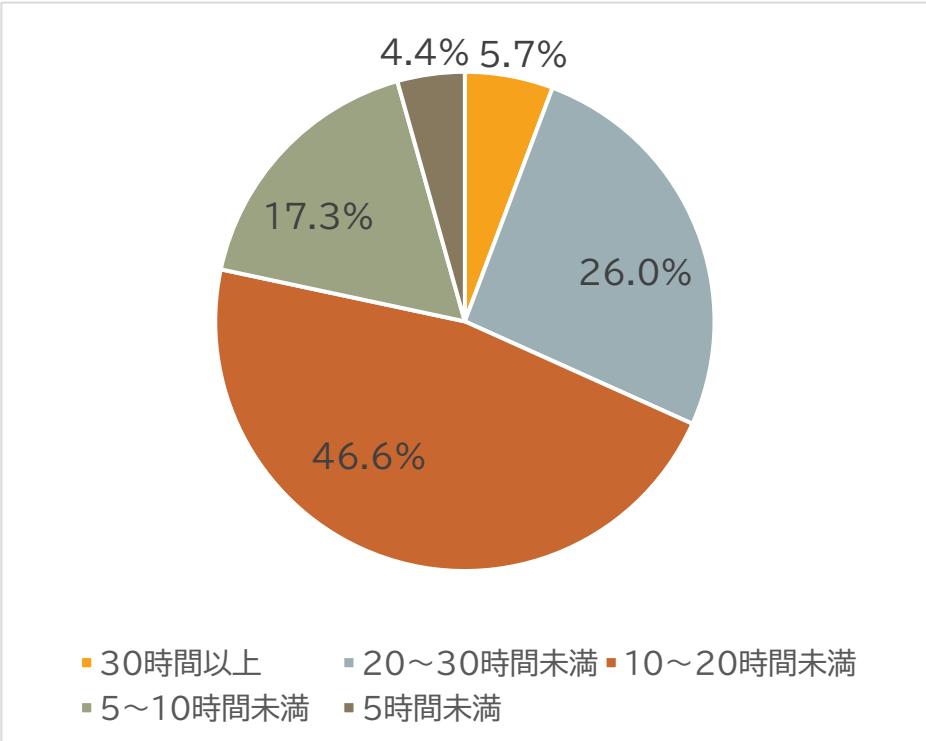
| アルバイトの状況 | 割合     | 回答者数 |
|----------|--------|------|
| している     | 77.5%  | 676  |
| していない    | 22.5%  | 196  |
| 計        | 100.0% | 872  |



問12 問11でアルバイトをしていると回答した方にお聞きします。アルバイトの1週間の平均時間はどれくらいですか。

「10～20時間未満」が最多で46.6%となっている。

| 平均時間      | 割合     | 回答者数 |
|-----------|--------|------|
| 30時間以上    | 5.7%   | 38   |
| 20～30時間未満 | 26.0%  | 173  |
| 10～20時間未満 | 46.6%  | 310  |
| 5～10時間未満  | 17.3%  | 115  |
| 5時間未満     | 4.4%   | 29   |
| 計         | 100.0% | 665  |

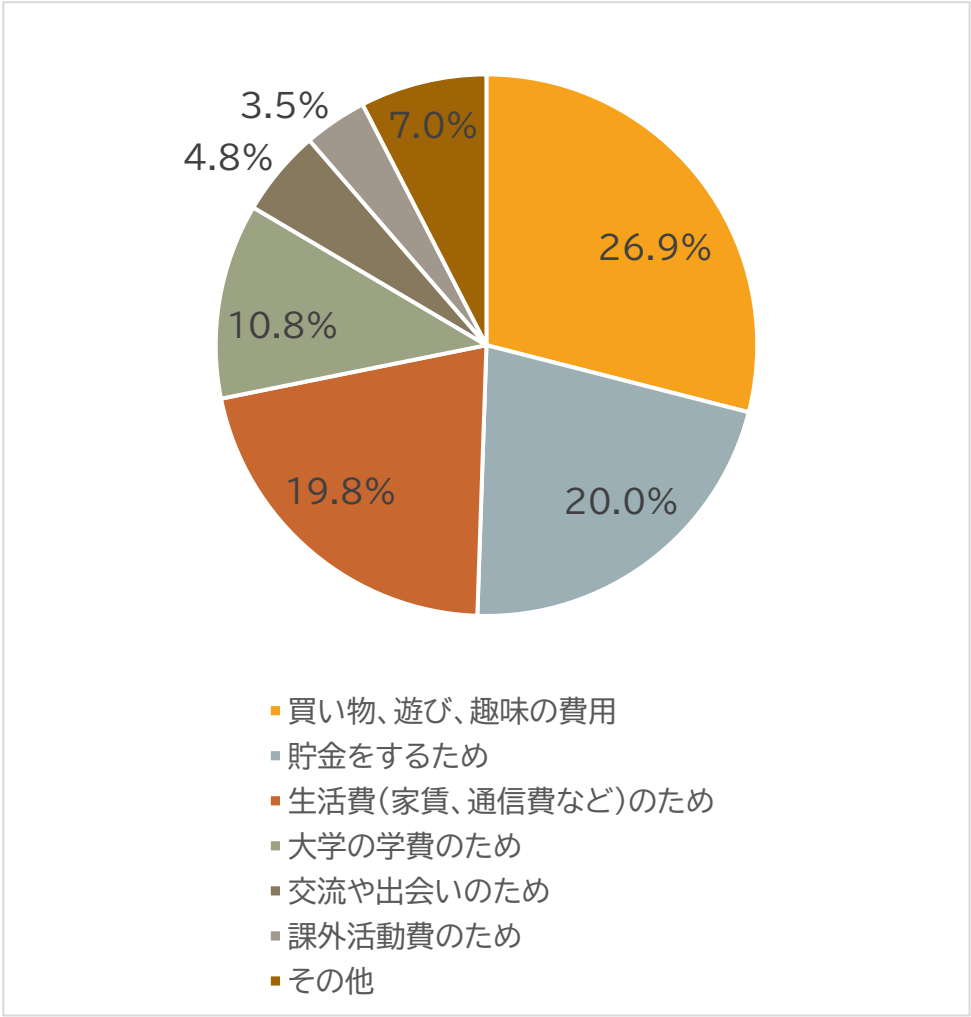


問13 問11でアルバイトをしていると回答した方にお聞きします。どのような目的でアルバイトをしていますか。

(複数回答可)その他を選択した場合は、具体的な目的を記載してください。

「買い物、遊び、趣味の費用」が最多で26.9%となっている。

| 目的                          | 割合     | 回答者数  |
|-----------------------------|--------|-------|
| 買い物、遊び、趣味の費用                | 26.9%  | 460   |
| 貯金をするため                     | 20.0%  | 342   |
| 生活費(家賃、通信費など)のため            | 19.8%  | 338   |
| 大学の学費のため                    | 10.8%  | 185   |
| 交流や出会いのため                   | 4.8%   | 82    |
| 課外活動費のため                    | 3.5%   | 60    |
| その他                         | 7.0%   | 120   |
| 社会保険や将来のキャリアのため             | 2.5%   | 43    |
| 専門学校(公務員試験、資格取得、自動車免許など)の費用 | 2.0%   | 34    |
| 就職活動の費用                     | 1.8%   | 30    |
| 社会経験、定期代、サークル活動費            | 0.8%   | 13    |
| 計                           | 100.0% | 1,707 |





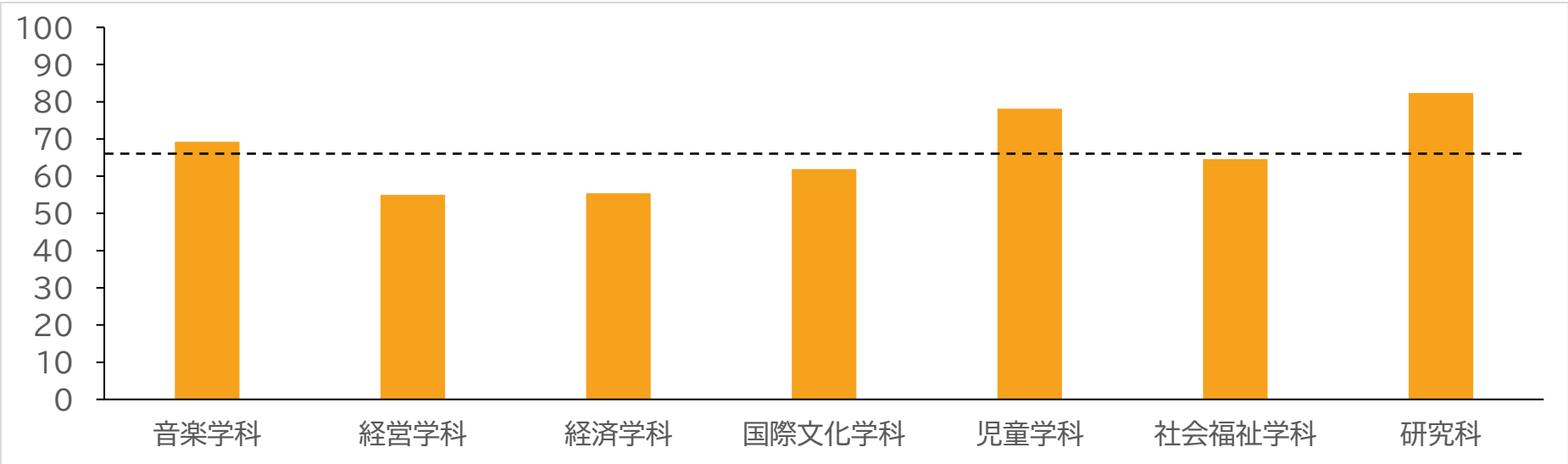
Ⅲ 学生の学修時間・学修行動を把握するアンケート結果及び分析の総括

Ⅱ の回答データを用いて、以下の観点で分析を行った。

1. 学科・研究科ごとによる分析

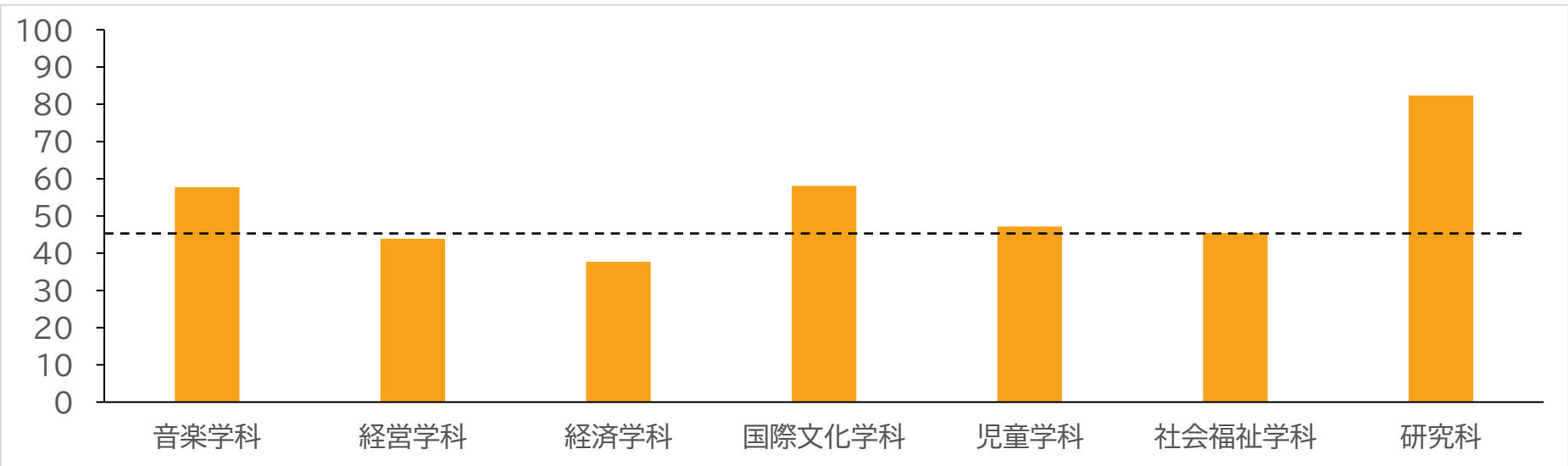
a. 問4で平均出席率が9割以上と回答した学生の学科・研究科の割合(点線は学生全体の回答率: 64.8%)

| 学科・研究科 | 回答者数 | 出席率が9割以上と回答した学生の回答者数 | 回答率  |
|--------|------|----------------------|------|
| 音楽学科   | 26   | 18                   | 69.2 |
| 経営学科   | 180  | 99                   | 55.0 |
| 経済学科   | 130  | 72                   | 55.4 |
| 国際文化学科 | 160  | 99                   | 61.9 |
| 児童学科   | 229  | 179                  | 78.2 |
| 社会福祉学科 | 130  | 84                   | 64.6 |
| 研究科    | 17   | 14                   | 82.4 |



b. 問5で学修・勉強の時間(授業時間を除く)を1日平均1時間以上と回答した学生の学科・研究科の割合(点線は学生全体の回答率)

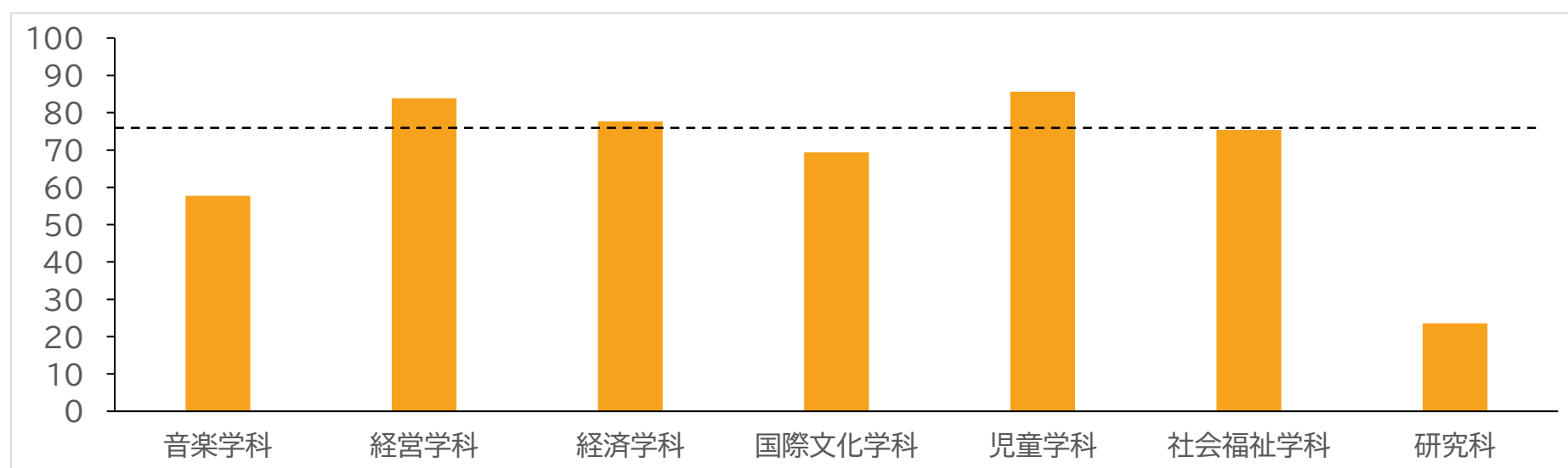
| 学科・研究科 | 回答者数 | 1日平均1時間以上と回答した学生の回答者数 | 回答率  |
|--------|------|-----------------------|------|
| 音楽学科   | 26   | 15                    | 57.7 |
| 経営学科   | 180  | 79                    | 43.9 |
| 経済学科   | 130  | 49                    | 37.7 |
| 国際文化学科 | 160  | 93                    | 58.1 |
| 児童学科   | 229  | 108                   | 47.2 |
| 社会福祉学科 | 130  | 59                    | 45.4 |
| 研究科    | 17   | 14                    | 82.4 |





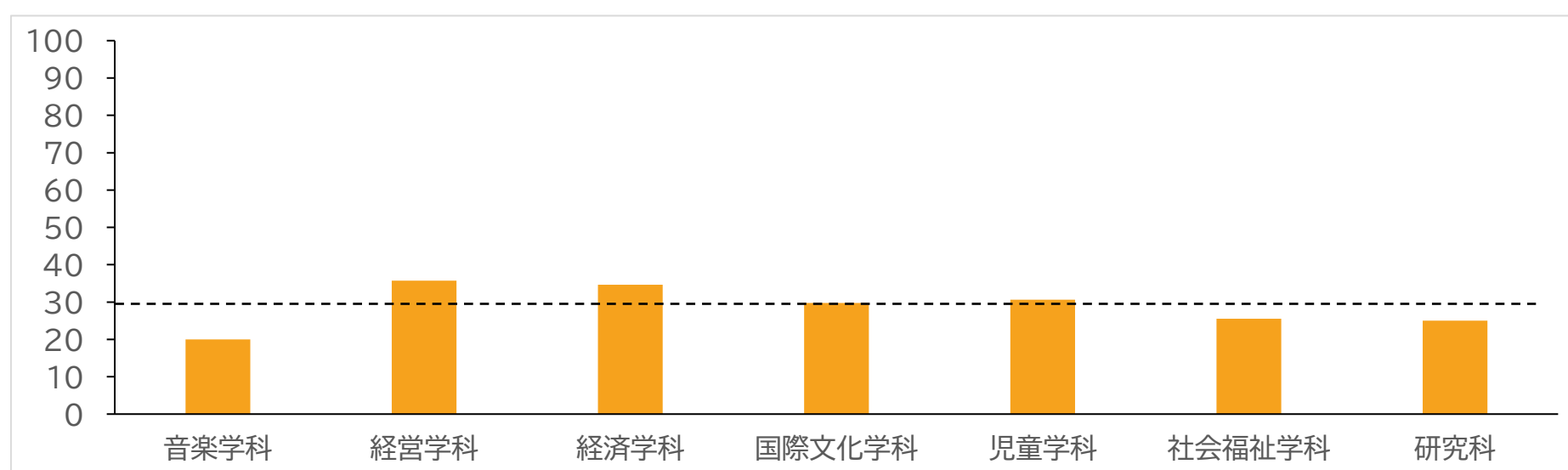
c. 問11でアルバイトを行っていると感じた学生の学科・研究科の割合(点線は学生全体の回答率: 77.6%)

| 学科・研究科 | 回答者数 | アルバイトを行っていると感じた学生の回答者数 | 回答率  |
|--------|------|------------------------|------|
| 音楽学科   | 26   | 15                     | 57.7 |
| 経営学科   | 180  | 151                    | 83.9 |
| 経済学科   | 130  | 101                    | 77.7 |
| 国際文化学科 | 160  | 111                    | 69.4 |
| 児童学科   | 229  | 196                    | 85.6 |
| 社会福祉学科 | 130  | 98                     | 75.4 |
| 研究科    | 17   | 4                      | 23.5 |



d. 問12でアルバイトを20時間以上行っていると回答した学生の学科・研究科の割合(点線は学生全体の回答率: 31.2%)

| 学科・研究科 | 回答者数 | 20時間以上行っていると回答した学生の回答者数 | 回答率  |
|--------|------|-------------------------|------|
| 音楽学科   | 15   | 3                       | 20.0 |
| 経営学科   | 151  | 54                      | 35.8 |
| 経済学科   | 101  | 35                      | 34.7 |
| 国際文化学科 | 111  | 33                      | 29.7 |
| 児童学科   | 196  | 60                      | 30.6 |
| 社会福祉学科 | 98   | 25                      | 25.5 |
| 研究科    | 4    | 1                       | 25.0 |



学科・研究科ごとによる、9割以上授業に出席している学生の割合では、研究科が82.4%、児童学科が78.2%、音楽学科が69.2%で高い割合であった。一方、経営学科55.0%、経済学科55.4%と低い割合であり、学科ごとの違いがあらわれていた。学習時間で1日平均1時間以上と回答した学生の割合では、研究科が82.4%と高く、次いで国際文化学科が58.1%、音楽学科が57.7%と他の学科に比べて高い割合を示していた。アルバイトを行っている学生の割合では、児童学科85.6%、経営学科83.9%と高い割合であり、アルバイトを20時間以上行っている学生の割合も経営学科が35.8%、経済学科が34.7%と高い割合であった。

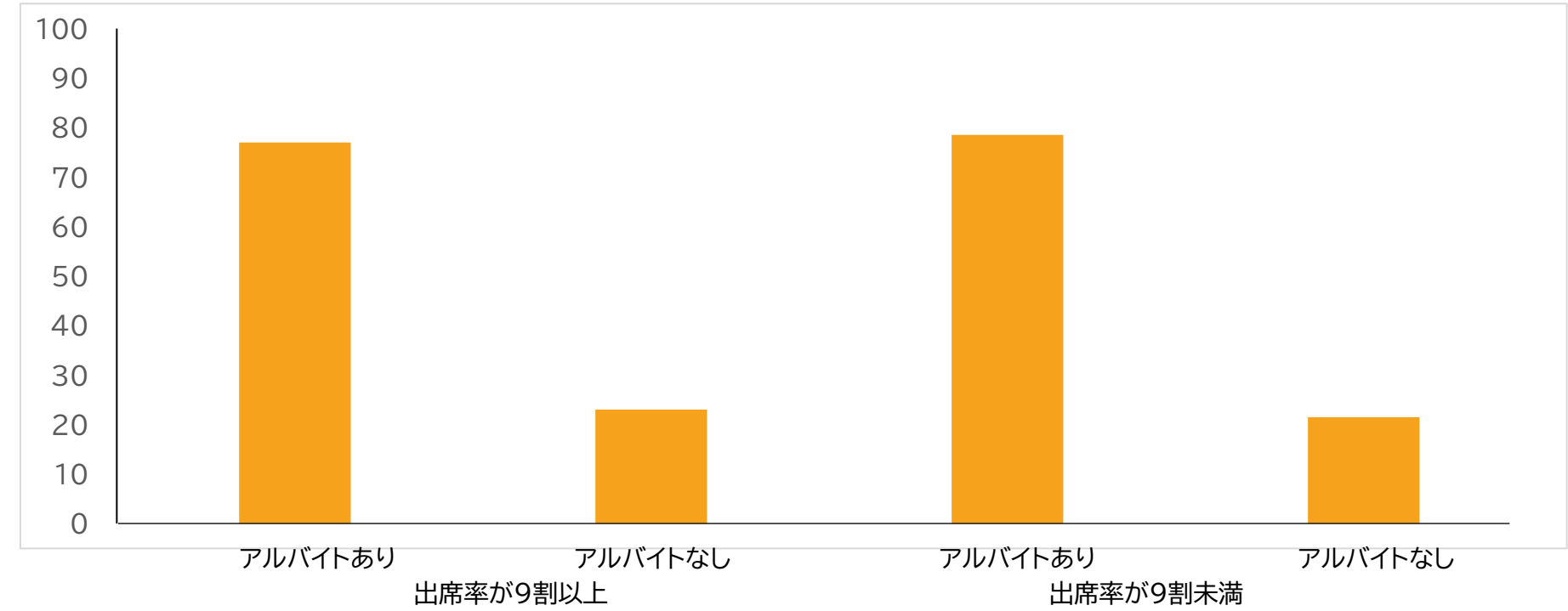
以上より、研究科は社会人の学生もいることが影響していると考えられ、アルバイトを行っている学生は少ないものの、出席率、学習時間ともに高い値を示していた。国際文化学科、音楽学科はアルバイトを行っている学生が全体的に低く、学習時間も多く行っている傾向である一方、児童学科はアルバイトを行っているが授業への出席率が高く、学習時間もある程度の学生が確保している傾向であった。また、経営学科、経済学科はアルバイトを行っている学生、特に20時間以上と長い時間を費やしている傾向があり、これらが授業への出席率、学習時間の低下に影響している可能性が示された。



2. アルバイトと出席率の関係

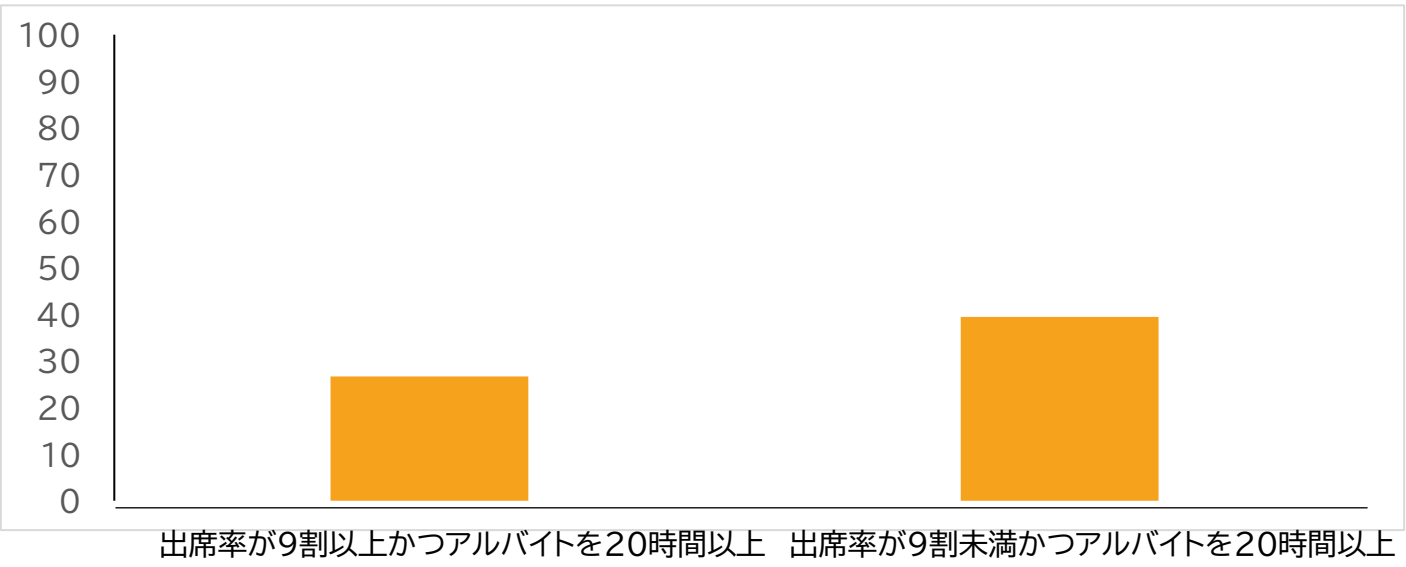
a. 問4で平均出席率が9割以上と回答した学生とそれ以外の学生で分けた後、問11のアルバイトの有無の割合を算出した

|                        | 回答者数 | 回答率  |
|------------------------|------|------|
| 出席率が9割以上かつアルバイトを行っている  | 435  | 77.0 |
| 出席率が9割以上かつアルバイトを行っていない | 130  | 23.0 |
| 出席率が9割未満かつアルバイトを行っている  | 241  | 78.5 |
| 出席率が9割未満かつアルバイトを行っていない | 66   | 21.5 |



b. 上記のアルバイトを行っている

|                                | 回答者数 | 回答率  |
|--------------------------------|------|------|
| 出席率が9割以上かつアルバイトを20時間以上行っていると回答 | 116  | 26.7 |
| 出席率が9割未満かつアルバイトを20時間以上行っていると回答 | 95   | 39.4 |

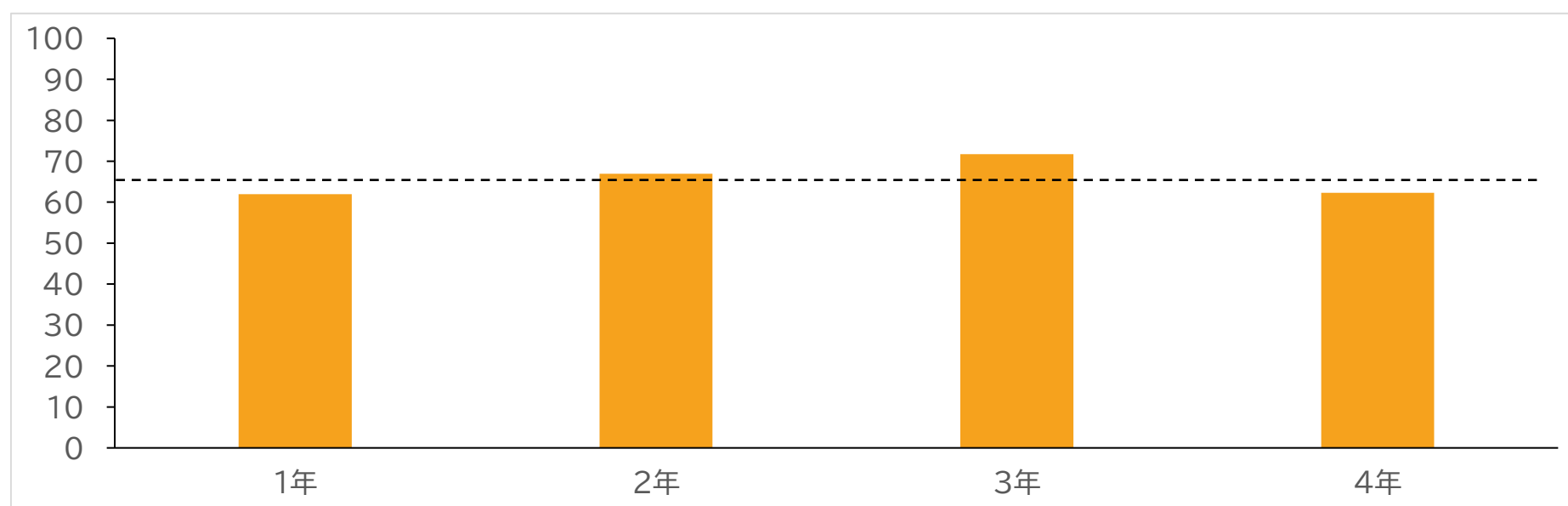


本学の学生で、アルバイトを行っている学生の割合は77.5%であった。アルバイトを行っており出席率が9割以上ある学生は77.0%、出席率が9割未満の学生は78.5%となり、アルバイトの有無と高い出席率の関係は示されなかった。しかし、出席率が9割未満の学生で、アルバイト20時間行っている学生の割合は39.4%であり、これらは出席率が9割以上の学生の26.7%よりも高い値であった。これらの結果から、長時間のアルバイトが出席率に影響している可能性が示唆された。

### 3. 学年ごとによる分析

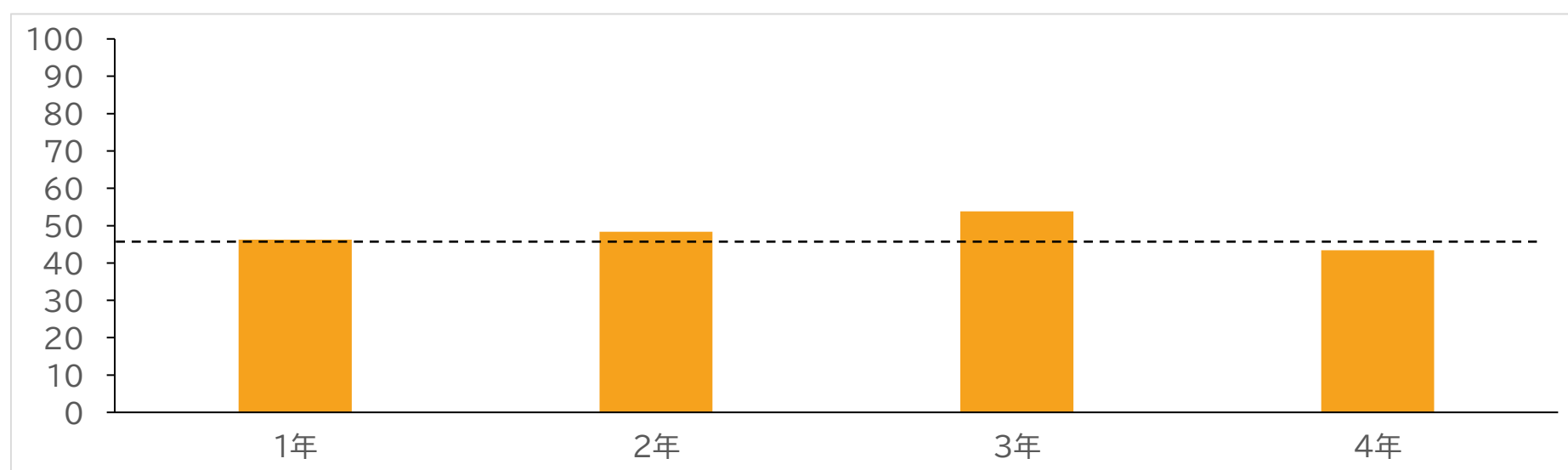
a. 問4で平均出席率が9割以上と回答した学生の学年ごとの割合(点線は学生全体の回答率: 64.8%)

| 学年 | 回答者数 | 出席率が9割以上と回答した学生の回答者数 | 回答率  |
|----|------|----------------------|------|
| 1年 | 402  | 249                  | 61.9 |
| 2年 | 215  | 144                  | 67.0 |
| 3年 | 145  | 104                  | 71.7 |
| 4年 | 106  | 66                   | 62.3 |



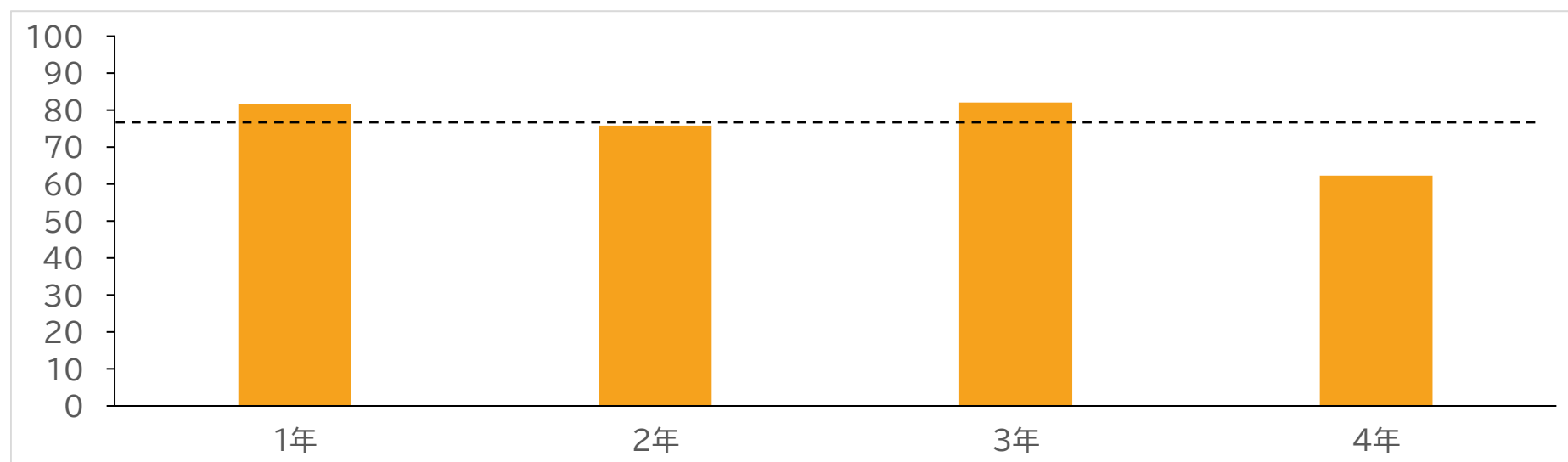
b. 問5で学修・勉強の時間(授業時間を除く)を1日平均1時間以上と回答した学生の学年ごとの割合(点線は学生全体の回答率: 46.3%)

| 学年 | 回答者数 | 1日平均1時間以上と回答した学生の回答者数 | 回答率  |
|----|------|-----------------------|------|
| 1年 | 402  | 186                   | 46.3 |
| 2年 | 215  | 104                   | 48.4 |
| 3年 | 145  | 78                    | 53.8 |
| 4年 | 106  | 46                    | 43.4 |



c. 問11でアルバイトを行っているという回答した学生の学年ごとの割合(点線は学生全体の回答率: 77.6%)

| 学年 | 回答者数 | アルバイトを行っているという回答した学生の回答者数 | 回答率  |
|----|------|---------------------------|------|
| 1年 | 402  | 328                       | 81.6 |
| 2年 | 215  | 163                       | 75.8 |
| 3年 | 145  | 119                       | 82.1 |
| 4年 | 106  | 66                        | 62.3 |



9割以上出席している学生の学年ごとの内訳では、1年生が61.9%と最も低く、3年生の71.7%が最も高い値であった。同様に、1日平均1時間以上の学習を行っている学生の学年ごとの内訳では、3年生の53.8%が最も高い値であり、4年生の43.4%が最も低い値であった。さらに、アルバイトを行っている学生の学年ごとの内訳では、3年生の82.1%が最も高い値であったが、1年生は81.6%と2番目に高い値であった。アルバイトを行っていない学生では、4年生の62.3%が最も低い値であった。

学年ごとの分析によって、3年生の出席率が高く、学習時間が長く、アルバイトを行っている学生が多い傾向が示された。3年生になり就職活動がせまってくることも1つの要因であると考えられる。一方、大学生活のスタートである1年生、就職活動中である4年生における出席率と学習時間の低さは気になる点である。

#### 4 総括

本アンケートの結果から、本学の学生のうち7割以上の学生がアルバイトを行っていること、アルバイトを行っている学生が必ずしも出席率が低いという訳ではないことが明らかになった。例えば、3年生が最もアルバイトを行っている割合が高いが、学習時間も最も多かった。また、授業の出席率が9割以上の学生とそれ以下の学生で、アルバイトの有無の違いは小さかった。しかし、出席率が9割未満の学生の多くが長い時間をアルバイトに費やしていることが明らかになった。本アンケートでは、アルバイトを長く行わなければならない理由は、十分に明らかにすることはできず、大学に通うためや生活を行うためにアルバイトを行っている学生もいるであろうし、大学に通う目的が見出せず、収入が得られるアルバイトの時間を意図的に増やしている学生がいる可能性もある。今後は、アルバイトを長時間行わなければならない理由、大学への出席が少ない理由を明らかにすることが求められると考える。また、本アンケートに回答した学生は、大学からの要望に対して協力的であるため、出席率の割合が高く、学習時間が長い学生が回答している可能性が高い。そのため、本アンケートの結果は、比較的肯定的な結果が高く示されたバイアスも考えられる。今後、出席率が低い学生、学習時間が確保されていない学生についての調査も必要になると考える。